

水利点検を実施

いの町消防団では、5月15日と22日に各分団で、管内の水利点検及び資機材の点検を実施しました。

これは火災が発生した時、早急な消火活動を行うため実施したもので、水利箇所の再確認をし、消火栓の蓋が開けにくくなっていないか、防火水槽の水量は十分か、といったことを確認しました。

また、今回の水利点検出務に対する消防団員への費用弁償は、すべて東日本大震災への義援金として寄付することとなっています。

本川地区を巡視

5月15日、本川方面隊と吾北方面隊清水分団が合同で本川地区の水利箇所や消防道の確認をしました。

山間部の火災では、遠距離での中継送水が多く、本川・吾北方面隊の相互協力が、非

常に重要となりますので、今後とも水利箇所を熟知した上で、各方面隊間で連携をとっていく必要があります。

7月の消防団行事予定

7月3日(日)

仁淀消防連合会夏季演習
(高知県消防学校)

新入団員の紹介

新たに消防団に入団された方を紹介します。地域での消防・防災活動におけるご活躍を期待します。また、地域におきましても新入団員の消防団活動にご支援をお願いいたします。

伊野方面隊	神谷分団	濱田 隆司さん
	神谷分団	町田 一郎さん
	南分団	池上 和也さん
本川方面隊	第一分団	石濱 直樹さん
	第三分団	伊東 隆次さん

転倒防止対策、家具の配置の見直しをしましょう

阪神・淡路大震災では、死亡やけがの原因の約8割が家具などの転倒落下や家屋の倒壊によるものでした。家具の固定と家屋の耐震補強をすることで、揺れによる被害をほとんどなくすることができるのです。

また、窓ガラスの飛散防止や食器が散乱することを防ぐことだけが防ぎます。

転倒防止対策・飛散防止策は、家屋の耐震改修と異なり、すぐご家庭で実践できることです。各家庭での対

策をお願いします。

家具の設置場所について

- ・寝室や乳幼児、病人のいる部屋には大きい家具を置かない
- ・家具が倒れた時、避難経路(玄関や廊下)を塞がないように
- ・重いものを下の方に収納する
- ・畳の上は転倒しやすいので、家具を置かない

家具の固定方法について

- ・L型金具
- ・ベルト式・チェーン式金具
- ・突っ張り棒とマットの併用等

阪神・淡路大震災での室内の様子



6月19日24時で

E T C 休日特別割引の「地方部上限1,000円」は終了しました。

6月20日0時以降

無料化社会実験区間の高知道(高知IC~須崎東IC)は有料となりました。

問い合わせ

西日本高速道路株式会社四国支社
高知高速道路事務所 ☎862-1116

お願い

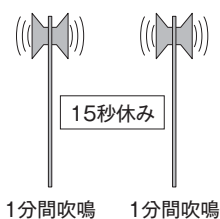
四国電力からダム放流についてお願い

今年も集中豪雨や台風が発生するシーズンとなります。

四国電力では、筏津ダム、大森川ダム、長沢ダム、大橋ダム、分水第三えん堤、分水第三えん堤、分水第四えん堤から放流する場合、サイレンや警報車でお知らせしています。

サイレンや警報車による警報を聞かれた場合は、川におられる方や川に物を置かれていた方は、直ちに安全な場所へ移動するようお願いいたします。

なお、放流する場合のサイレンの鳴らし方は、次のようになっています。



※筏津ダム放流量等の情報は、フリーダイヤルにて24時間提供していますので、ご利用ください。

☎012012613679

※四国電力のダムは発電専用であり、ダムへ流れ込んできた水を発電に利用しますが、雨等で最大発電を超える水が流れ込んできた場合は、ダムから放流することとなります。